

美 建 第 1 5 5 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

美馬市長 牧 田



今後の 道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて別紙のとおりですのでよろしくお願いいたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

地方にとって道路は、生活や、産業、経済、社会活動を支える最も重要な施設であり、社会資本の中でも優先して整備しなければならない根幹的施設であるにもかかわらず、本市の道路整備の水準は、地理的、地形的要因により、他の地域と比べて道路整備が大幅におくれており、生活道路の整備、少子高齢社会に対応した医療施設などへのアクセス道路、さらには東南海・南海地震に備えた緊急輸送道路の早期整備など解決すべき課題を多く抱え道路を計画的に整備することが不可欠となっている。

1 重点化を進める上での特に優先度の高い施策として

(1)日常生活道である市町村道(橋梁含む)整備への配慮

- ・市町村道は、過疎地の生命線である。多くの道路は高度経済成長期に小額で開設整備された市道であって老朽化に伴う改良、舗装修繕などの整備が急務である。
- ・交付金事業による日常生活道整備に係る地域の実情に合わせた道路構造令の緩和運用による事業採択
- ・地域のインフラである道路、農道、林道などを一体的に整備する地域再生法に基づく事業の拡大
- ・橋梁の老朽化に伴う橋梁整備(長寿命化事業)
- ・過疎高齢化に伴い高齢者や女性にやさしい待避所や回転場、安全柵などの設置

(2)地震災害などの自然災害に対処するための道路整備の推進

- ・地震などによる災害時の避難路、緊急輸送路、迂回路としての国、県、市道の早急な道路整備

(3)高速道路の4車線化の実現と利用料金の値下げ

- ・高速道路の利便性の向上により、地域経済の発展と安全で快適な通行を図る

2 効率化を進める上で重視すべきこととして

(1)地域振興や生活環境の整備のための道路ネットワークの形成

- ・地方の主要国道・県道は、地方の地域間を結ぶ基幹道として重要な道路であり、早期整備の促進
- ・従来どおりの現況での改良を見直し地域事情や線形を考慮したトンネル等の工法を検討し事業の効率化

(2)道路構造令の緩和

3 その他

(1)スマートIC(インターチェンジ)の設置推進

(2)高速道の利便性向上のためゆずり車線の推進

(3)事業による地域の活性化

○現状

本市は、ほぼ中央部を東西に吉野川が流れ、地理的、地形的に南北の結びつきは国、県道に依存している。市道の延長は約1,200kmとなっており、大半が幅員3m前後で、必要な構造物の未整備や未舗装路線も多い状況であります。そのため、山腹から小雨での崩壊や落石事故が多く発生しておりますし、管内には、大きな谷川が数多く、長大橋が76橋総延長3,729mとなっております。これらの橋は老朽化がすすんでいるので早急な対策が必要となてている。

また、地域内に高速自動車道のインターチェンジが2箇所あり国道192号、193号、438号、492号、県道鳴門・池田線、美馬・塩江線など隣接県へ通じる幹線道路が縦横するなど、県の東西や隣接県を結ぶ交通の要所として重要な役割を担っているが、幅員の狭小な部分、落石の危険性の高いとこなどの未改良箇所が多くある。

○課題

本市の総面積は約367km²であり、そのため市道の総延長も長い。総面積の約8割が山林であり山間地で生活する集落も多くあり市道の未改良路線や老朽化した橋梁も多く維持改修などを含めた事業費が膨大になる。

また、地理的、地形的に国、県道に依存する割合が大きい、路線によっては改良率が低い。市道と同じく山間山あいを走る路線であるために改良費が多額になり改良延長が延びない現状であります。現況線形などの見直しを行い新たな工法等を検討。

②—2地域の目指すべき将来像

1. 利便性の高い住環境をつくる生活道路の整備

本市の一体性を確保するため、回避性重視する道路網の形成に努めるとともに、交通安全や災害対策などに配慮した道路環境の整備を計画的に図る。

①市民生活と密接な関係にある市道の整備・改良については、国道、県道との機能分担や連携性を考慮して、地域の実情を踏まえ、広域的幹線道路、地域道路、都市計画道路など、子どもや高齢者をはじめすべての人が快適に利用できるよう、安全で環境に配慮した道路整備。

②地域と地域を結ぶ連絡道の整備を図り、災害時の避難路や迂回路としての道路網を確立する。

2. 広域交通ネットワークの充実のための基幹道の整備

市民や本市を訪れる人々が幾度となく足を運ぶことができる、快適で利便性の高い道路網の確立を促進する。

①近隣の地域間を結ぶ道路網の強化のため、国道、県道等の改良整備について、関係機関に積極的に要望する。

②国道193号の高規格化を促進するため、関係機関に積極的な働きかけを行う。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

徳島県美馬市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	本市には、徳島自動車道のインターチェンジが2箇所あり国道、県道など地域内、隣接県へ通じる基幹道路が縦横するなど交通の要所として重要な役割を担っているが、幅員の狭小な部分、落石による危険性の高いところ、地形的要因による現道方線など、改良整備を必要とする箇所が多くある。 また、自動車道の4車線化、利用料金の値下げにより利便性の向上を図る。 ・国道193号 計画路線への格上げ。、地形的要因による急カーブなどの現道方線を見直し、改良整備 ・国道492号 本市の木屋平地域へ通じる唯一の道路であるが2車線改良済み区間が40%と低いうえ、急カーブの連続で早急な改良要	○期待する効果や評価等 基幹道の整備と自動車道の利便性が図れることにより県西部地域の経済、物流、観光の拠点としての大きな経済効果が期待できる。 また、本市の地域間を結ぶ重要な役割を果たしているため自然災害に対処する避難路、緊急輸送路、迂回路として役割は大きい。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	本市は、中山間地域で生活する集落、限界集落が多く、交通手段は自家用車などに頼っている。地形的要因により道路幅員は極めて狭小で高齢者の通行は非常に危険な状況である。部分的に高齢者にやさしい待避所、回転場、安全柵などの設置。	幅員の狭小な市道延長は長く全ての改良には、事業費、時間的要因で非常に難しい。部分的に整備をすることにより安全な通行が図れる。	各自治会からの道路に対する要望、陳情は非常に多い
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	本市の市道は高度経済成長期に小額で開設された道路、橋梁などの老朽化に伴う、道路舗装、側溝、橋梁修繕などの維持管理や更新を行い施設の延命化を図る。	市民生活と密接な関係にある市道の整備は、子どもや高齢者をはじめすべての人が安全で快適に利用できることにより高い住環境を得る。	事業に対する市町村道の事業評価は難しいものがある。